

独立行政法人国立病院機構 東徳島医療センター やさしい笑顔と よりそう医療

〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1

TEL 088-672-1171 FAX 088-672-3809 URL http://www.etokushima-mc.jp/ e-mail 515sy01@hosp.go.jp

9月号 vol.153 2018.9.1

## 少しDeepな青森

外科 須見 高尚

皆さん青森と聞けば、ねぶた祭・奥入瀬渓流・十和田湖・ 八甲田山・弘前城等思い浮かべると思いますが、今回紹 介するのは十和田市現代美術館と三沢航空科学館です。

青森県は本州の最北端に位置しており面積は徳島県の 2倍強、人口は2倍弱、最近では平均寿命が一番短い県 としても知られています。

そんな青森県ですが、空港は青森市と米軍基地がある 三沢市と二つあり紹介する二つの施設は三沢空港が便利 です。何回か乗りましたが、大抵米軍関係と思われる方 と一緒になります。また三沢市内でレンタカーを借りて 運転していると所謂アメ車に遭遇します。

さてお勧めする美術館は2008年4月に十和田市の官公庁街通り(別名:駒街道)に開設されました。一つの作品に対して、独立した一つの展示室が与えられ、これらをガラスの通路でつなぐという構成になっており、国内外のアーティスト33組による38の常設作品が、館内だけでなく、敷地内さまざまな場所に展示されている。写真は屋外に展示されていて美術館を象徴しているともいえ

フラワー・ホース

るフラワー・ホー フラワー・ボー です。 がない はいの 「アート館にいるかないない。 がないない。 がいない。 がいない。 で向りない。 がいない。 でのいる。 がいるが、 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのい。 でのい れています。私はあまり美術には興味ありませんが、そんな私でも十分楽しめました。

次の三沢航空科学館は2003年8月に開館しています。館内にはYS-11、写真のH.24.9.5に十和田湖で引き揚げられた69年前に沈んだ旧陸軍の一式双発高等練習機、実大模型の零式艦上戦闘機二一型等展示されています。また屋外の大空ひろば(無料)には航空自衛隊あるいは米空軍より借り受けてあるT-33AやT-2ブルーインパルス仕様等10機以上展示されており、自由に操縦席に乗れました。



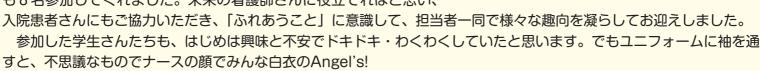
一式双発高等練習機

おまけですが、ご当地グルメとしてB-1グランプリで優勝した十和田バラ焼き(牛バラ肉とタマネギを、醤油ベースの甘みのあるタレで炒めた料理)もあり充分1日楽しめると思います。

# ふれあい看護体験 2018

東徳島医療センターでは公益社団法人徳島県看護協会主催による「ふれあい看護体験 2018」を7月25日に開催いたしました。ふれあい看護体験とは「看護の心」の普及啓発を通して、県民一人ひとりが人に対するおもいやりや、看護に関心と理解を深めてもらうことをねらいに、看護の心普及事業として展開しています。今年度も「やさしい笑顔と よりそう医療」をキャッチコピーに地域の皆様に愛される病院でありたいと願い、ふれあい看護体験に協賛しました。

当院近郊の高等学校から、看護の道に興味のある学生さんが、今年も8名参加してくれました。未来の看護師さんに役立てればと思い、



あいさつのあと、Let's看護体験!一般病棟での入院患者さんとのコミュニケーション、重症心身障害児(者)病棟の患者さんとゲームやシャボン玉遊び、透析室での血管エコー体験、手術衣を纏い「メスッ!」体験など様々な体験と経



験をしてもらうことが出来ました。お昼にはおいしい治療食も食べ、あっというまの看護体験でした。体験後の懇親会では学生さんから「看護師さんは思っていた以上に大変な仕事でした。」「患者さん一人ひとりを大切にしていてとてもやりがいのある仕事だと思いました。この体験を通してますます看護師になりたいと思いました。」との言葉をもらいました。本格的な夏が始まり、猛暑の一日でしたが誰一人体調を崩すこともなく無事終了しました。未来の看護師さんと触れ合うことができ、担当者一同、看護の道を志したころを思い出し気持ちの引き締まる思いです。

ふれあい看護体験 2018開催にあたりまして、ご協力とご賛同いただいた皆様に も心よりお礼申し上げます。これからも職員一同「やさしい笑顔と よりそう医療」 を胸に、頑張って行きたいと思います。 (透析室看護師長/阿部 康広)

### アツすぎる応援を!!

作業療法士 森本 雅大

徳島ヴォルティスは、2005年にJリーグに加盟。イタリア語で「渦」を意味する「VORTICE」から生まれた造語。豪快な鳴門の渦潮にあやかり、パワー・スピード・結束力を備え観客を興奮の渦に巻き込むという思いを込めて名付けられています。現監督はクラブ初外国人監督でリカルドロドリゲス。今シーズンのスローガンは巻土電来。言葉自身の意味は巻き起こった土煙が再びやって来る意から「一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して、巻き返すことのたとえ」。

Jリーグに加盟した際は、何年も下位にいた為、当時の私は、ヴォルティスの試合を見にいくのではなく、対戦相手の有名な選手を見にいくような感じで試合を見に行っていました。私がヴォルティスに夢中になったのは、2010年2月21日、徳島ヴォルティスと浦和レッズのプレシーズンマッチがポカリスエットスタジアムで行われ、徳島が2-1でJ1の浦和レッズを逆転で金星を挙げた日からです。試合内容としては、後半浦和が先制し、徳島MF徳重選手のPK弾で同点に追いつき、後半ギリギリで新加入のFW津田選手がゴールを決めて逆転勝利。逆転勝利をした時のスタジアムの雰囲気はお祭り状態で阿波踊りを思わすような鐘の音、選手たちと勝利を分かち合うのがとても印象的で虜になっていました。一際目立っていたのが当時ヴォルティスに在籍していた柿谷選手です。彼のキレ

キレのドリブルやテクニック満載のトラップやパスを生で見たときは鳥肌ものでした。そういったこともあり、シーズンパスも購入し、ホーム戦は毎試合見にいっています。

スタジアム観戦に行ったことない人、サッカーがあまり 知らなくても雰囲気で楽しめます。スタジアムの外にはスタジアムグルメ(スタグル)がたくさんあり、スタグルを 買ってビールを持って観戦すると最高です。スタグルは 色々な店舗があり種類も豊富です。試合中は点が決まれ ばお祭り騒ぎになり、知らない人とかとハイタッチをして 喜ぶと楽しいです。夏にはビアガーデン風になっており、 ハーフタイムには様々なイベントがあり、夏には花火があ がります。応援の雰囲気や一体感を楽しみ、スタジアムに 足を運ぶうちに、サッカーや選手の魅力に気づくと思いま す。今年のユニフォームはオリジナルデザインでお洒落で す。東徳島医療センターがある板野町は徳島ヴォルティ



スのホームタウンです。ピーターウタカ選手、バラル選手、押谷選手加入により前線は活性化!勝てる試合も多くなるはず!ヴォルティスが勝てばストレスも吹っ飛ぶ最高の週末になります!是非、観戦してみてください。

#### 看護学校便り ●



7月2日~4日に人間関係論の科目で国立淡路青少年交流の家に宿泊研修に行きました。

1日目の、「スキスキゲーム」では自分の嫌いなところを相手に打ち明け、それを認めてもらうということをしました。自分の嫌な部分をさらけ出すのは、とても怖かったですが、勇気を出して相手に伝えることで、すっきりとした気持ちになれました。普段は、なかなか言えないことも不思議とあの空間では言えました。それでも聴き手側から「すきです」と言ってもらえただけで嬉しくなったので、言葉には大きな力があると思いました。自分と同じ悩みを抱えている人もいて、共感し合え、お互いに親近感もわきました。

2日目の「スキスキゲーム」では、1日目とは違い、相手に自分のすきなところを言ってもらうという内容でした。このゲームでは、一人ひとりが自分の違った良いところを言ってくれて、自分では気づけなかったところをたくさん知ることができました。また、自分に自信を持つことができました。

「鯉の滝登りゲーム(トラストダイブ)」では一人ではできないことを協力し声を掛け合い、心を一つにして頑張ることの楽しさを学ぶことができました。一人が諦め、声を出さなくなると、チームに負担がかかります。全員が協力して行うことで、一つの物事が解決し、チームに笑顔が増えると気づくことができました。お互いを信頼し合うことが学べました。

3日目は「聴き方バリエーション」をしました。いろいろな話の聴き方を実演してみて、相手と話すときにどんな話し方をすれば、相手が安心して話しやすい環境をつくれるのか、また聴き方によっては相手の話す意欲を奪い、不快な気持ちにさせることを学びました。

この3日間は人と関わることの大切さを学びました。自分の新しい一面も知れて、クラスメートとの絆が深まりました。これからの学生生活では、一人でできないこともみんなで乗り越えていけるような気がしました。この思いを忘れず、3年間みんなで協力して過ごしていきたいと思います。 (看護学校/1年生 38期生)





#### \*\*\*\* 第38回 学生祭のご案内

皆で心を一つに結ぼう東徳祭〜おむすび魂!一粒一粒立つ米に!を開催します。学生一人ひとりが東徳祭を成功させるという気持ちで、それぞれの個性を学生祭で活かし、みんなで協力し結束力を高めてきました。いつもお世話になっている方々に、私達の日々の講義や実習に向けての取り組み、学校生活についての成果を見て頂き、学生との交流を楽しんでいただければと考えています。成果発表では、学生によるヨガ教室や手話教室を午前と午後に行いますので、興味のある方は是非ご参加ください。また、音楽クラブによる野外ステージも企画しています。学生の元気いっぱいのダンスを見て楽しんで頂ければと思います。他にも、学生が趣向を凝らした企画が満載です。是非、看護学校学生祭におこしください。お待ちしています。

看護学校HPでも内容を掲載しています。ご覧下さい。(http://www.hosp.go.jp/~eastt/99 gakkou/)

# テーマ 皆で心を一つに結ぼう東徳祭 ~おむすび魂! ―粒―粒立つ米に!

□ 時 平成30年10月26日(金) 一般公開···10:00~14:00

場所東徳島医療センター附属看護学校

内容 ヨガ教室、手話教室、お茶会、模擬店、学習成果の発表等

#### 公開講座のご案内

介護について、教員が楽にできる介護のコツを、体験をふまえお伝えします。皆さんもこの機会に、介護のコツを知ってみませんか。興味のある方は、是非ご参加ください。講義の最後にはリフレッシュ方法も紹介します。

# テーマすぐできる! 楽らく介護のコツ日 時平成30年10月26日(金) 11:00~12:00場 所東徳島医療センター附属看護学校 第2教室講 師看護学校教員 竹内 友美・西村 麻紀申し込み 方法お電話で、10月24日(水)までにお申し込みください。<br/>公開講座の申し込み時に①住所②連絡先③氏名④年代⑤性別をお伺いします。 TEL:088-672-4534

参加費 無料

いよいよ夏本番!お祭りの季節がやって 来ました (\*^\_^\*)

当院、重症心身障害児(者)病棟でも7 月4日(水)~6日(金)にかけて、『サマー フェスタ2018』が開催されました。

会場となった療育訓練棟には風船が装飾 され、わくわく感満載♪☆♪

看板娘コッコちゃんが店主のジュース屋、 かわいいグッズに心踊るくじ引き屋、四国4 県ご当地アイス、会場いっぱいに甘い香りが 広がる綿菓子の模擬店が並び、保護者の方 や病棟職員と一緒に模擬店を訪れる患者様の お顔は笑顔であふれていました (● ^o ^ ●)





4日の午後からは、ボランティア友の会「ひまわり」の方々によ る素敵なパフォーマンスが行われました。優雅なフラダンスやオカ リナの音色に魅了されたり、童謡や懐かしの歌謡曲を一緒に口ずさ んだり手拍子を打ったり、会場は大盛り上がりでした (=^・^=)

最後に、会場の皆で阿波おどりを踊り大盛況の中、『サマーフェス

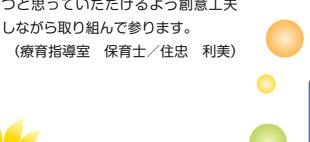
夕2018』1日目 は幕をおろしま した。

2日目以降も、療育指導室職員によるギター演奏や ダンス (ゴールデンボンバー/女々しくて) で盛り上 がりました (^◇^)

今年度もたくさんの方々のご協力の元、サマーフェ スタ2018を終えることができました。

今後も、療育活動が日々の生活の中での楽しみの一 つと思っていただけるよう創意工夫







当院に通院されている方ならどなたでもご参加頂けます。 (ご家族の方もご一緒にお話をお聞き頂けます。) 申込用紙は内科受付のTVカード精算機の上にあります。

(日時) 2018年9月11日以 午前11時~午後2時

(場所) 第2会議室(2階)

(内容)『糖尿病について』 糖尿病認定看護師

『本当に血糖値を下げる糖質制限・上級編

~油を味方につけよう~』

管理栄養士

※試食会(400円/材料費込) 筆記用具をお持ちください

